



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成29年1月4日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナオオサキブンカレキシホゾンカイ
団体名 大崎文化歴史保存会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「市民健康づくり」散策コースの保存活動
事業実施区域(小学校区)	庄内小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 3 回目 (27年度から)
課題	大崎地区の歴史遺産である大崎八十八か所へんろ道を活用して、「市民健康づくり」のために、散策コースマップを作成した。そして、高松公民館と共催し、広報活動を進めたので岡山市内外から多くの人々が利用した。 利用者の増加により、「高松城址からへんろ道」入り口までの道路周辺の清掃活動と「へんろ道の整備・清掃活動」を年数回実施する必要がある。そのために必要なボランティアを募集しないと我々保存会だけでは人手不足となった。 そこで、案内マップを活用し、保存・清掃活動を継続して、来る2020年の「200年祭」の実現に向けて活動したい。

事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 ・大崎地区は古墳時代後期より栄え数多くの「大崎古墳群」、奈良時代の「大崎廃寺」さらに戦国時代の延命地蔵「文英石仏」（大崎廃寺跡に文英直筆の最大級の石仏）など歴史遺産が豊富である。その歴史遺産の一つ「大崎古墳群を利用した大崎八十八か所へんろ道」をウォーキング大崎コースとして甦らせ、少しでも市民の健康づくりに貢献する。
事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ・案内マップをより使いやすくする改定検討会を行ない、再作成していき、出来上がったマップを利用して広報活動をおこなう。 ・高松城跡から「へんろ道」入口までの道路周辺の清掃と、「へんろ道」の整備・清掃のボランティア活動参加者をふやす。 ・高松公民館との共催で、年2回の「散策コース」を歩く会を実施。 ・岡山市内の他公民館の主催講座「歩く会」での案内ガイド協力
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ・大崎地区の歴史遺産を広く知ってもらい、市民の健康づくりに貢献できる。 ・岡山市民の健康づくりの為に、高松城跡から出発する「散策コース」を今後共保存していくためには、我々保存会だけの努力では困難だと思われるので、広くボランティア参加者を募り、保存活動を継続したい。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ・参加者を集めるときには今後共、高松公民館のご支援と協力を得ながら、共催で企画・実施したい。岡山市内の公民館の主催講座として「大崎八十八か所へんろ道ウォーキング」を実施する場合、案内ガイドとして協力する。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 ・高松中学校などの各種学校 ・高松公民館やその他岡山市内の公民館

事業の 情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・高松公民館のホームページや岡山市のホームページに我々保存会の活動を紹介してもらい、またオニビジョン、山陽新聞などのマスメディアも今後共、利用していく。
学区 地区 への 広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・公民館利用や広報活動（まほろば祭りなど利用）により「開山 200 年祭」に向け大崎地区外の地域へ「へんろ道」の知名度と共に企画やボランティアとして参加してもらえるように働きかける。
前年度 からの 見直し 拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 ・平成 27 年度には、コース案内マップを作成し、平成 28 年度からは広報活動を積極的に行い、平成 29 年度については広報活動と共に、地盤固めの意味でも「へんろ道」の整備や清掃に力を入れていく。
次年度 以降の 予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 ・2020 年の「八十八か所開山 200 年祭」に向け準備していく。 ・200 年祭には高野山から来ていただき開祖「真龍」和尚の供養をしたいと考えている。その為の資金作りとして、「高松まほろば祭り」に出展し、大崎コース広報活動と共に行っている。 ②資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他 PR したい 点	・庄内小学校の一つの町内の有志活動として始まった我々の「大崎文化歴史保存会」も 5 年間の活動により、高松中学校区ではほとんどの人に認知され、高松公民館や岡山市のご協力で市内にも知れ渡ってきました。

事業スケジュール

月日	活動内容
4月23日(日)	「市民健康づくり」大崎コースを歩く会(高松公民館と共催)
5月	役員会(反省会と総会の準備)
6月25日(日)	保存会総会と学習会(高松公民館にて)
7月	
8月	
9月	高松まほろば祭りの企画・準備など
10月	高松城址から「へんろ道」入り口までの道路周辺の清掃 「高松まほろば祭り」展示・出展の参加
11月	「散策コース」を歩く会開催(高松公民館と共催)
12月	役員会(今年度の反省と次年度の計画) 案内マップの改定のための検討会を行い、使いやすいマップに改善したい。
1月28日(日)	へんろ道の清掃活動(高松公民館の各クラブにボランティア活動要請)
2月	
3月	

*他の公民館からの要請があれば、案内ガイド。

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	25000	10000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金	10000		
協賛金			
寄付、他収入	15000	10000	
計	50000	20000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	50000	20000	案内マップ(200部)
計	50000	20000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。